

2025年度 和泉短期大学 シラバス					
授業科目名	生活支援の基本		教員氏名	佐久間志保子	
科目ナンバー	Ⅱ－4・5-4				
学年	専攻科		開講学期	前期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	専攻科		実務経験	看護師	27年
テーマ	自分を知り、生活の援助者としての自覚を深め、生活支援を理解する				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	学生が支援者として成長するためには自分を見つめることである。看護師として、実務を通して研究を重ねてきた。研究は知らなかったことを明らかにすることである。そのため、学生が高齢者や障害者について明らかにしたいことを習得する				
授業の 到達目標	1. ICFの視点を生活支援に活かし、生活の豊かさや心身の活性化のための支援を説明することができる。				
	2 援助が必要な方の心理を説明することができる。				
	3.自分を見つめながら、高齢者の方との交流ができ、思いを説明することができる。				
テキスト	「生活支援技術Ⅰ」中央法規				
参考書	なし				
ポートフォリオ	ワーク1「自分を理解する」 ワーク3「昔の遊びを探そう」				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他： コマシラバスの活用				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験		実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	研究発表60% ポートフォリオ(ワーク1.3)20% 授業の取り組み20%		
	その他				

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	生活とは何か、支援するとは何か	
	授業外学習	〈復習〉ポートフォリオ ワーク 1「自分を理解する」	210分
第2回	テーマ 内容	交流分析を用いた自己覚知	
	授業外学習	〈復習〉交流分析を活用し、自分の気持ちをレポートする	210分
第3回	テーマ 内容	高齢者体験を通して、加齢による身体的変化の理解	
	授業外学習	〈復習〉高齢者の身体的特徴の課題に取り組む	210分
第4回	テーマ 内容	高齢者体験を通して、加齢による精神的特徴の理解	
	授業外学習	〈復習〉高齢者の精神的特徴の課題に取り組む	210分
第5回	テーマ 内容	高齢者のゲストスピーカーへの質問から生活者としての理解	
	授業外学習	〈復習〉ゲストスピーカーの体験をレポートにする 高齢者の生活背景を理解する	210分
第6回	テーマ 内容	高齢者のライフスタイル、ライフステージ、ライフサイクルの理解	
	授業外学習	〈復習〉ゲストスピーカーの話から様々な高齢者のライフスタイルや考え方をまとめる	210分
第7回	テーマ 内容	高齢者や障害者など福祉に関する研究について	
	授業外学習	〈復習〉研究について、自分なりに整理する	210分
第8回	テーマ 内容	高齢者や障害者に関する研究テーマの設定	
	授業外学習	〈予習〉学生が自ら高齢者や障害者に関する興味のある研究を文献等から考える	210分
第9回	テーマ 内容	研究の目的や方法の発表	
	授業外学習	〈予習〉研究の目的や方法を整理する	210分

第10回	テーマ 内容	研究内容の修正等	
	授業外学習	〈予習〉研究内容を修正等を行う	210分
第11回	テーマ 内容	研究テーマ、目的等の発表	
	授業外学習	〈予習〉研究テーマ、目的等の発表準備を整理する	210分
第12回	テーマ 内容	各発表に対して、学生が評価	
	授業外学習	〈予習〉文献整理や研究をまとめ発表の準備をする	210分
第13回	テーマ 内容	研究発表（ICFの視点を踏まえながら説明を行う）	
	授業外学習	〈復習〉生活支援の基本で明らかになった自己課題を今後の学習に生かす	210分

課題に対するフィードバックの方法

作成した課題の相互評価・自己評価結果のシェアリングによって、成果と課題を可視化